

資料5 中井町まちづくり町民アンケート

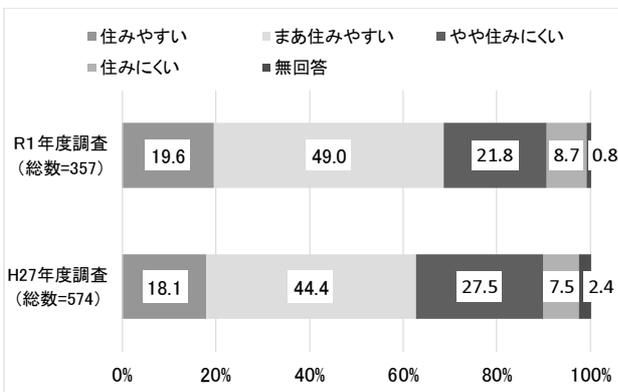
■実施概要

- 調査期間：令和元年8月5日～8月26日
- 調査対象：中井町在住の18歳以上の男女1,400人（住民基本台帳による無作為抽出）
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 回収数：357（回収率25.5%）
- 注意事項：集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを示しているため、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
また、回答の比率（%）は、その質問の回答者数を母数として算出しているため、複数回答の設問ではすべての選択肢の比率を合計すると100.0%を超える場合があります。

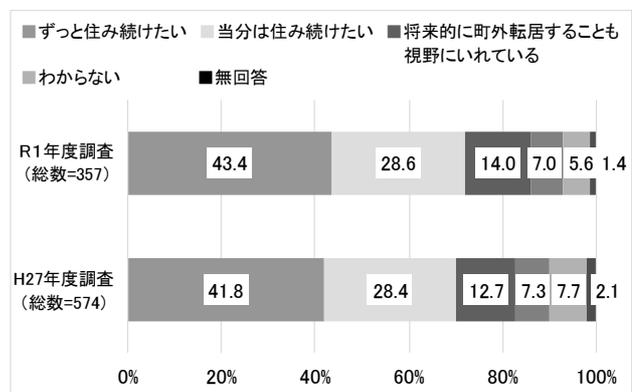
■調査結果

1 住みやすさ・定住意向について

（1）住みやすさ



（2）定住意向

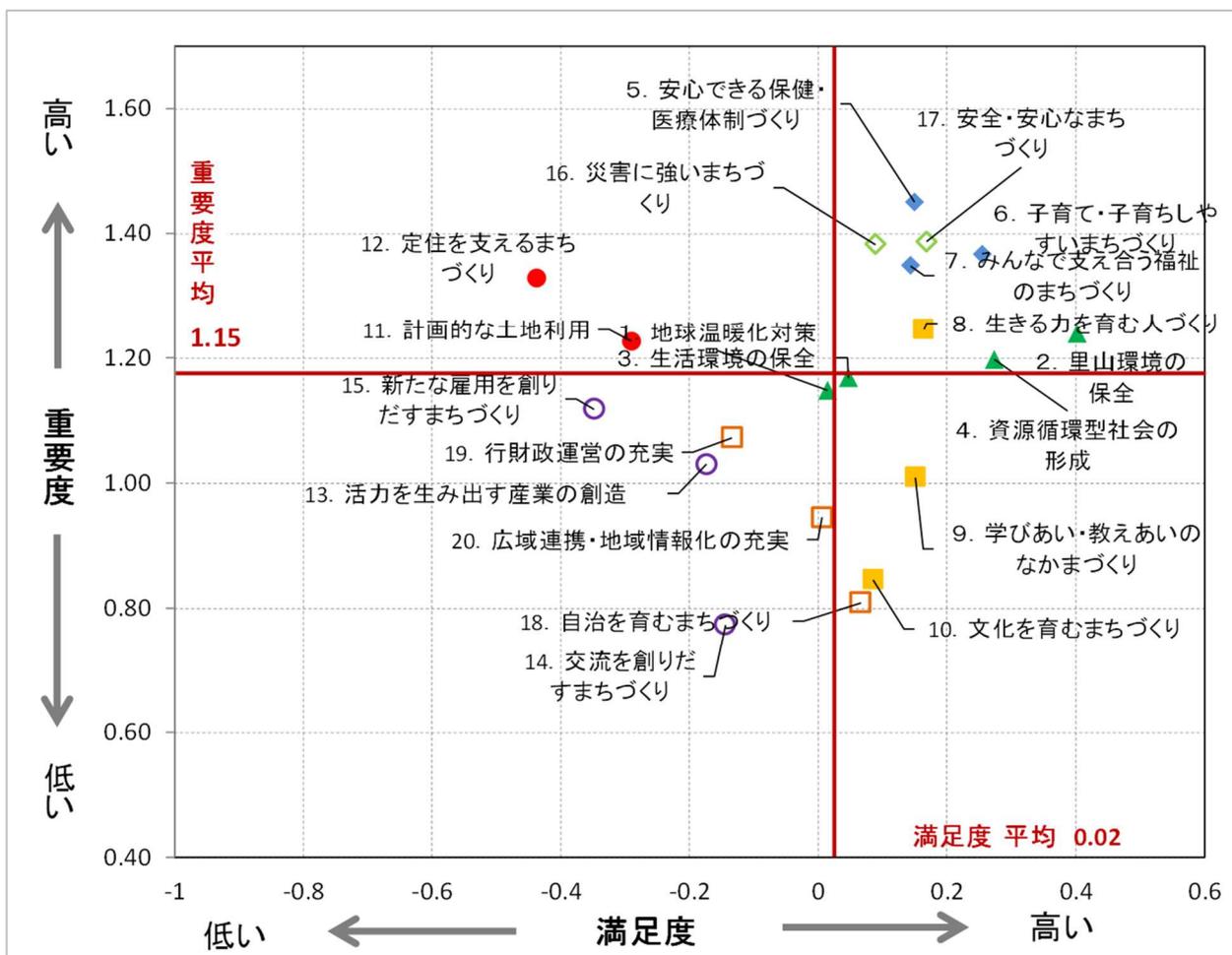


- 住みやすさについては、「まあ住みやすい」と「住みやすい」の合計が7割を超えており、前回調査の62.5%を6.1ポイント上回り、多くの町民は住みやすいと感じています。
- 定住意向については、それぞれ前回調査と同じ割合となっており、「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」の合計は7割となっている一方で、「将来的に町外転居することも視野にいれている」と「町外に転居したい」の合計は2割となっています。

■住み続けたい理由と町外に転居したい理由【上位5位】

住み続けたい理由（総数=257）【上位5位】		町外に転居したい理由（総数=75）【上位5位】	
自分の家（土地）があるから	75.9%	交通が不便だから	81.3%
町の自然や景観が好きだから	33.9%	日常生活（買い物など）がしづらいから	48.0%
自分が育ったところだから	30.0%	仕事や学校の関係で	30.7%
災害や犯罪が少ないから	23.3%	人間関係が良くない、煩わしい	17.3%
仕事や学校の関係で	13.6%	地域に愛着や魅力がないから	16.0%

2 町の施策の重要度・満足度



凡例	▲	1 自然と環境	◆	2 健康・福祉	■	3 教育・学習	●	4 都市・住宅
	○	5 産業・観光	◇	6 防災・防犯	□	7 自治・連携		

■グラフの見方

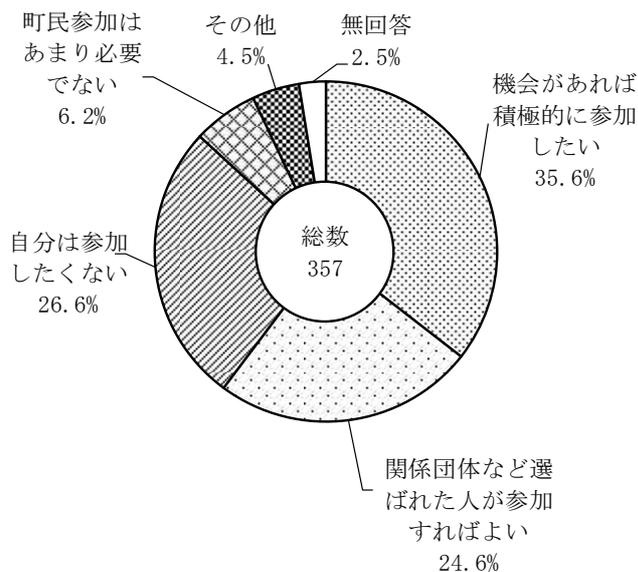
町で実施している主要施策 20 施策について、「満足 (重要)」 = 2 点、「やや満足 (やや重要)」 = 1 点、「やや不満 (あまり重要でない)」 = -1 点、「不満 (重要ではない)」 = -2 点として加重平均して得点化し、満足度と重要度の平均の位置 (0.11、1.01) を原点としてグラフ化しています。各施策の位置によって以下のように評価することができます。

右上 (満足度 : 高、重要度 : 高) = 現状維持が求められる施策
 左上 (満足度 : 低、重要度 : 高) = 重点的な実施が求められる施策
 右下 (満足度 : 高、重要度 : 低) = サービス水準の見直しの必要性がある施策
 左下 (満足度 : 低、重要度 : 低) = 施策のあり方等の見直しの必要性がある施策

- 重点的な実施が求められる満足度が低く、重要度が高い施策は、「都市・住宅」の2つの施策がすべて分類されており、特に「定住を支えるまちづくり」でその傾向が強くなっています。
- 一方、満足度と重要度が高い施策には、「健康・福祉」と「防災・防犯」のすべての施策が分類されており、維持していくことが求められます。

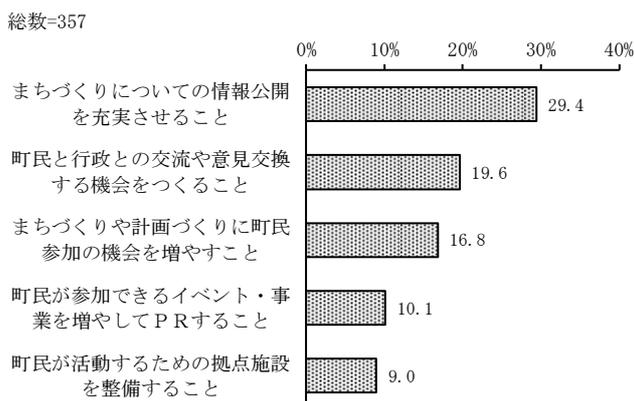
3 まちづくり活動（町民参加）について

(1) まちづくり活動への参加意向



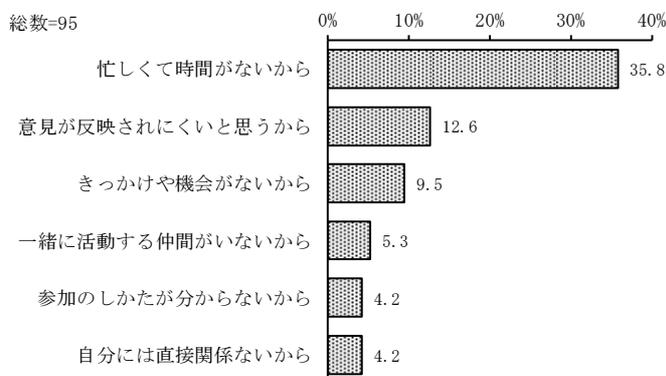
- まちづくり活動への参加意向については、「機会があれば積極的に参加したい」(35.6%)の比率が最も高くなっています。
- 一方、「自分は参加したくない」(26.6%)や「関係団体など選ばれた人が参加すればよい」(24.6%)の比率も高く、「町民参加はあまり必要ではない」(6.2%)とあわせ、6割弱の人が主体的な町民参加を望んでいません。

(2) 町民と行政が協働でまちづくりを行う上で、必要だと思うこと【上位5位】



- 町民と行政が協働でまちづくりを行う上で必要だと思うことについては、「まちづくりについて情報公開を充実させること」(29.4%)、「町民と行政との交流や意見交換する機会をつくること」(19.6%)、「まちづくりや計画づくりに町民参加を増やすこと」(16.8%)などの比率が高く、情報公開とともに町民参加や交流、意見交換の機会を求めていることがみてとれます。

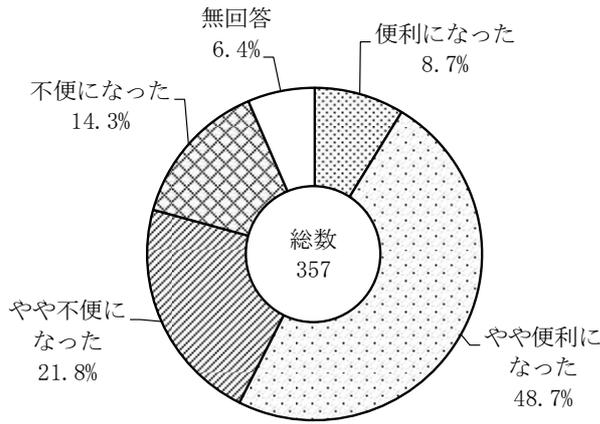
(3) まちづくり活動へ参加したくない理由【上位5位】



- まちづくり活動へ参加したくない理由については、「忙しくて時間がないから」(35.8%)が3割を超えて最も高く、第2位の「意見が反映されにくいと思うから」(12.6%)より20ポイント以上高くなっています。第3位に、「きっかけや機会がないから」(9.5%)が続きます。

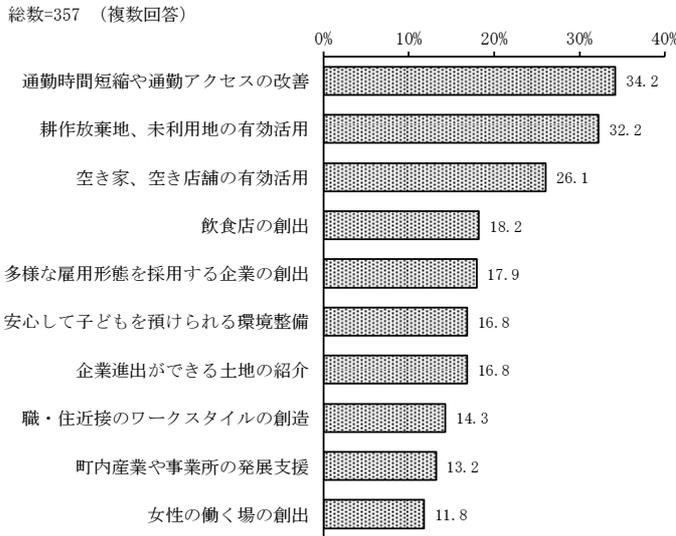
4 地方創生について

(1) ここ数年で中井町の利便性が向上したと感じますか。



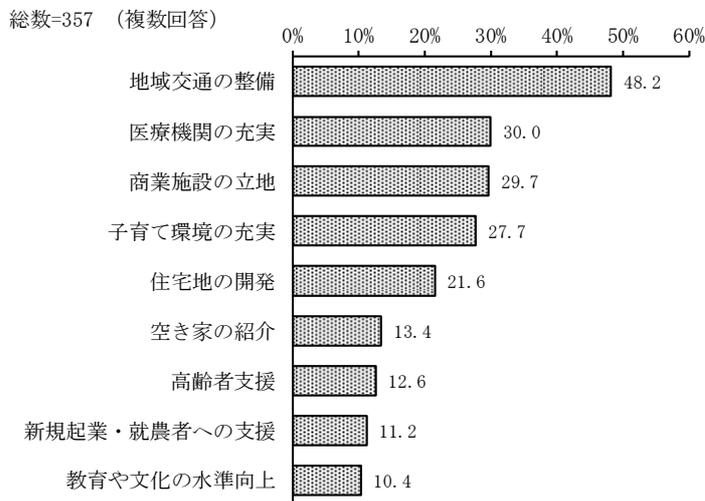
●ここ数年（平成27年度以降）で中井町の利便性が向上したと感ずるかについては、「便利になった」（8.7%）、「やや便利になった」（48.7%）を合わせた57.4%が便利になっていると回答している一方、「やや不便になった」（21.8%）、「不便になった」（14.3%）を合わせた36.1%が不便になったと回答しています。

(2) 仕事をつくり、安心して働けるようにするために必要な取組【10%以上】



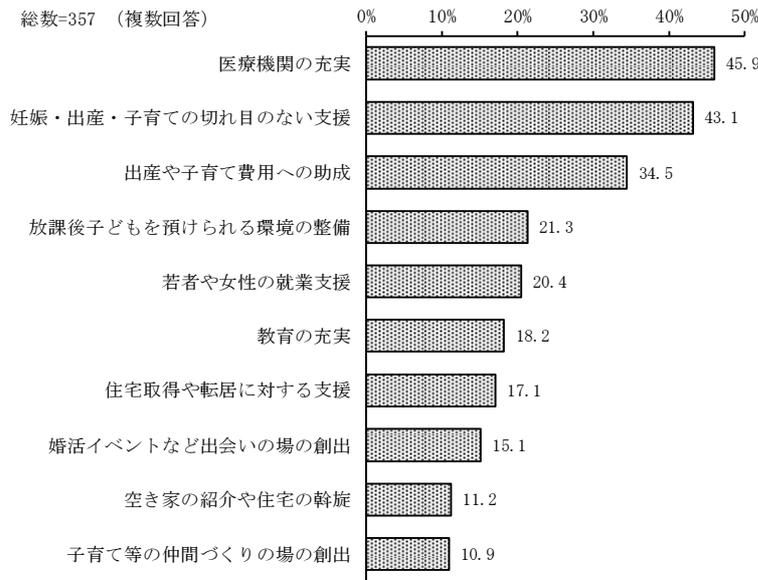
●町に仕事をつくり、安心して働けるようにするために必要な取組については、「通勤時間短縮や通勤アクセスの改善」（34.2%）が3割を超えて最も高く、次いで、「耕作放棄地、未利用地の有効活用」（32.2%）、「空き家、空き店舗の有効活用」（26.1%）と続き、通勤しやすさの向上、利用されていない建物・土地の活用などを求める意見が多くなっています。

(3) 移住・定住する人を増やすために必要な取組【10%以上】



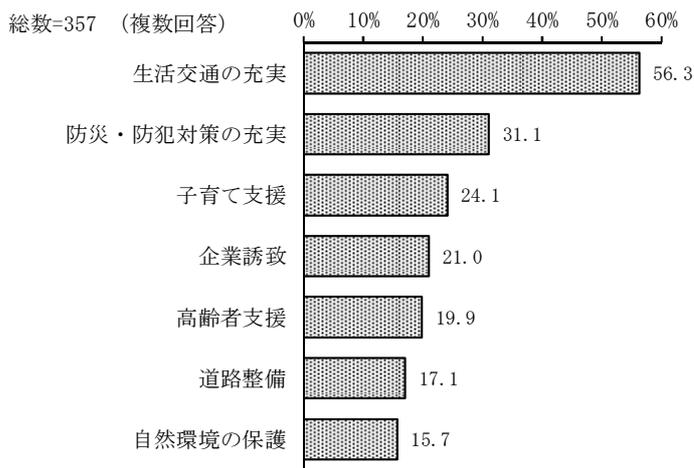
●移住・定住する人を増やすために必要な取組については、「地域交通の整備」（48.2%）が5割弱と最も高く、次いで、「医療機関の充実」（30.0%）、「商業施設の立地」（29.7%）、「子育て環境の充実」（27.7%）などの比率が3割と続きます。

(4) 安心して結婚・出産・子育てができるために必要な取組【10%以上】



- 安心して結婚・出産・子育てができるために必要な取組については、「医療機関の充実」(45.9%)が最も高く、次いで、「妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援」(43.1%)、「出産や子育て費用への助成」(34.5%)の比率が高く、医療や出産・育児に関する意見が多くなっています。
- その他、「放課後子どもを預けられる環境の整備」(21.3%)、「若者や女性の就業支援」(20.4%)の比率も高く、働く環境の支援に関する意見も多くなっています。

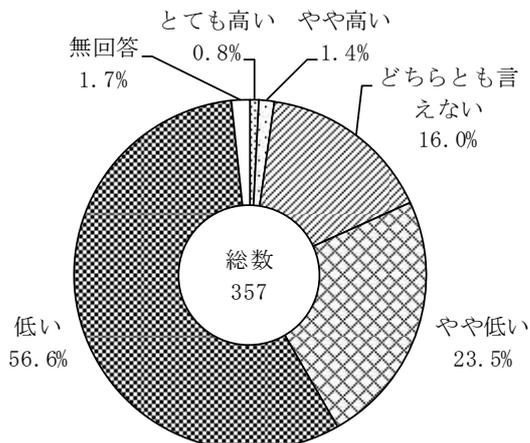
(5) 安心して暮らせ、活力ある町にするために必要な取組【15%以上】



- 安心して暮らせ、活力ある町にするために必要な取組については、「生活交通の充実」(56.3%)が5割を超えて最も高く、第2位の「防災・防犯対策の充実」(31.1%)より20ポイント以上高くなっています。
- その他、「子育て支援」(24.1%)、「企業誘致」(21.0%)の比率が2割と高くなっています。

5 まちのプロモーション活動

(1) 町の知名度



- 町の認知度については、「とても高い」(0.8%)、「やや高い」(1.4%)を合わせた『高い(計)』は2.2%で、一方、「低い」(56.6%)、「やや低い」(23.5%)を合わせた『低い(計)』は80.1%となり、知名度が低いと思っている人の比率が8割以上と多くなっています。

資料6 なかいまちづくりミーティング

■実施概要

第六次中井町総合計画後期基本計画の策定にあたり、重点プランや分野別施策、まちづくりの進め方などについて、町民の視点で意見交換し、当該計画を策定するうえでの参考とするために開催しました。

■日時・テーマ・参加人数

回	日時	テーマ	参加人数
1	令和元年11月17日(日)	将来像の実現に向けて重要だと思う取組について	10名
2	令和元年12月15日(日)	7つの分野についてそれぞれ重要だと思う取組について	13名
3	令和2年 1月19日(日)	将来像を実現する3つの重点プランについて	10名

■主な意見

第1回「将来像の実現に向けて重要だと思う取組について」
<ul style="list-style-type: none"> ◆移住：中井町だからこそその環境のPR（ゆったりとし暮らし、水がおいしい など） ◆情報：町民や移住希望者などそれぞれのニーズにあった情報発信の工夫 ◆施設：遊具や健康器具の設置など公園の充実。商業施設の誘致 ◆交通：駅までのアクセスの向上、オンデマンドバスの有効活用 ◆災害：災害時の体制強化。避難所へのアクセスが悪い地区の対応 ◆企業：町内企業についての理解を促進するための取組
第2回「7つの分野についてそれぞれ重要だと思う取組について」
<ul style="list-style-type: none"> ◆自然・環境：水の保全。鳥獣被害対策。耕作放棄地への対策。農業体験の推進 ◆健康・福祉：気軽に運動ができる施設の整備。障がい者が利用しやすい環境の整備 ◆教育・学習：学童保育時等の教育環境の充実。町内企業と連携した教育の取組の検討 ◆都市・住宅：高齢者の移動手手段の確保。運動公園の充実。おためし定住の実施 ◆産業・観光：町内の滞在時間を増やすための施設誘致。観光資源としての震生湖の活用 ◆防災・防犯：災害時土砂崩れ等の対策の強化。通学路での街灯などの設置 ◆自治・連携：特産品や地場産品の買える場所の周知・充実。自治会活動の活性化
第3回「将来像を実現する3つの重点プランについて」
<ul style="list-style-type: none"> ◆活力：町内外の人が集まり交流する場所・機会をつくる、学校教育の充実、健康づくりの推進 ◆快適：交通の利便性を向上させる取組、里山の環境整備、スポーツ施設の整備 ◆安心：子どもが安心して過ごせる環境の整備（移動・防犯）、防災・防犯など地域ルールを作り共通認識を持てるような取組、町民同士の顔の見える関係性づくり

第六次中井町総合計画後期基本計画

発 行 中井町

神奈川県足柄上郡中井町比奈窪 56

令和3年3月

編 集 中井町企画課

U R L <https://www.town.nakai.kanagawa.jp/>

協 力 (株)地域計画建築研究所

ちょうどいい ちょっといい



さと里都まち♥なかい